



# 神奈川県環境学習リーダー会 会報 No. 50

2006年  
4月 5月

役員会報告..... 1	地球温暖化防止活動推進員研 修事業の基礎研修への講師派 遣について..... 8	廃棄物 GO3 部会..... 11
安丸元一代表に聞く..... 2	部会報告	グリーン部会..... 11
総会報告..... 3	エネルギー部会..... 8	豆知識のページ..... 11
環境科学センター新所長訪問 4	ケナフ部会..... 9	環境の日、環境月間..... 11
役員退任の方々のメッセージ 4	自然環境部会..... 10	環境月間イベント情報 .... 12
事務所開設について..... 6	大気環境部会..... 10	リレー登場
18年度子ども環境体験教室.. 7	水環境部会..... 10	アイドリングストップ..... 14
18年度「環境情報コーディネ ーター」について..... 7		掲示板..... 15
		編集後記..... 16

## 役員会報告

(事務局長 大森 勝)

### 4月役員会(4月6日)

1. 確認事項  
会員数 167 名
2. 総会関連各議案の審議、確認  
第1号議案～第5号議案
3. 報告事項  
H18年度地球温暖化防止活動推進員研修事  
業のうち、基礎研修をかながわアジェンダ推進  
センターよりK・リーダー会へ講師派遣の依頼  
があり受理した。

### 4月臨時役員会(4月17日)

総会前につき新役員候補も出席して開催

1. 総会関連  
総会要領の審議、役割分担等決定。  
総会資料(会報と同時に送付)の確認。  
新年度事業計画にNPO法人格の取得の検討  
を入れた件  
・第4号議案の審議の折、理由の明確化を含め、  
代表が意向表明する。
2. 報告事項
  - 1) 環境カウンセラー協会より依頼  
「化学物質」についての市民向け講座への協  
力を依頼された。
  - 2) 広報部関係  
広報部の運営につき今後検討を進める。
  - 3) 共同オフィスの運用規定  
運用規定作成することとした。
  - 4) メーリングリストの管理  
現在オーナーの原圃氏と事務局長が検討す  
る。

## 平成18年度 役員と分担

代表	安丸 元一
副代表(子ども環境体験教室担当)	吉田 榮一
副代表(市民環境活動報告会担当)	香川 興勝
事務局長	大森 勝
事務局(神奈川エコタウン情報担当)	狩野 光子
事務局(グリーン教育支援システム担当)	齊藤 美代子
会計担当	藤田 滋
広報部長	鎌田 裕二
地域活動サポート部長 (兼務)	香川 興勝
事業担当	
(エネルギー部会)	安藤 紘史
(ケナフ部会)	荒谷 輝正
(自然環境部会) (兼務)	藤田 滋
(廃棄物 GO3 部会)	内藤 克利
(大気環境部会)	井上 勝義
(水環境部会)	齊藤 昭一
(グリーン部会)	杉山 陽絵
監事	立石 定己
監事	安部 洋子

## 平成18年度 部会長

エネルギー部会	安藤 紘史
ケナフ部会	荒谷 輝正
自然環境部会	藤田 滋
廃棄物 GO3 部会	原圃 信夫
大気環境部会	猪股 満智子
水環境部会	齊藤 昭一
グリーン部会	杉山 陽絵

## 5月役員会（5月24日）

新役員による第1回の役員会を環境科学センターにて開催。

### 1. 確認事項

会員数 164名

### 2. 新役員の分担

会計担当が不測の事態で担当できなくなり、事務局大森、斎藤2人で担当することとする。リーダー会担当事業は、責任者が会計のとりまとめも行う。当会が参加する事業については、責任者が会計のとりまとめを行う。

### 3. 広報部の体制について



メンバーが大幅に交代したこと、部員数が少ないことを考慮し、役員会全体で支援する体制をとる。一般会員のご協力をお願いしたい。

- ### 4. 環境科学センターとの今後の協力要領について
- 環境実践者養成講座等の実施要領等について、今後どうあるべきかについても検討の対象としていく。

注) KERC 担当者との懇談内容

19年度以降の神奈川県環境科学センター運営については、センター内で検討中であり、リーダー会の意見も出してもらいたい。

- ### 5. グリーン部会は、「グリーン購入ネットワーク」に入会し、全国的情報収集と今後の活動エリアを広める。

## 安丸元一代表に聞く

当会の代表を仰せつかり、早くも1年が過ぎ18年度総会を迎え、皆様のご支援とご協力により全ての議案を原案通りご承認、また貴重なご意見をいただきました。誠に有難うございました。今更ながら、責任の重大さを認識した次第です。

昨年度の振り返り

17年度は、活動基本方針に則り出来るだけ多くの環境イベントに参加し、多くの会員に呼びかけ、内外の信用を得るよう心がけて来ましたが、各地域懇談会では貴重なご意見を頂き、参加した各種イベントごとに新たな体験しました。特に当会が一体となり仕上げたエコタウンかながわ情報 - 2005 は、今後 - 2006, - 2007・・・と改訂しながら、より完成度の高い神奈川の地域環境情報として当会の貴重な財産になることでしょう。またグリーン部会は季節ごとのグリーン学習紙芝居を製作し、各種イベント毎に多くの子供達に感動と共感を与えましたし、その紙芝居枠もリサイクル紙管で製作するなど部会間の協力、幅の広さを実感させてくれました。その他恒例の事業は勿論のこと、県温暖化防止活動推進センター主催の温暖化防止の集い、テーマ別研修に参加し高い評価を受けております。

財政的には皆様のご苦勞された事業の中から頂きました協力金のお陰で、十分とは云えないまでも余力を残すことが出来ました。以降の会運営、新規事業の貴重な財源として蓄えております。

会の将来展望

最近・行政の厳しい財政状況も相容れ、「市民でできる事は市民で」という施策が各地方自治体で推進されてきました。当会員は、県環境科学センター

で基礎教育を受け活動しており、世間の信頼も高まりつつあります。更に世間の期待に沿うために、会として新規性のある高度な環境教育、保全活動を各自治体に提案し環境協働事業、委託事業に積極的に参加したいと思っております。それには個人保証の任意団体では心もとなく、更に信頼ある組織体制・法人格の取得が必要です。そのため本年度はNPO法人格の取得をいたしたく、皆様のご協力をお願いします。

神奈川県に育てられ、県内でただ一つの総合的環境活動団体として名実ともに成長し、将来は県内には勿論のこと、全国的に、あるいは国際支援を含めた世界規模での環境活動を推進しようではありませんか。

会員への期待

本年度も多くのイベントに参加しますので、地域でのイベントで参加可能な情報をお願いします。そして一人でも多くの会員の参加と、多くの新規性のある提案をお願いします。

今回・横浜市の会員からのご提案で、共同オフィスを申請し、別途案内の通り受理されたお陰で、会として横浜市に拠点が出来、環境協働事業にも提案できました。この協働事業は一般会員のアイデアをメインにし、プレゼンテーションも終え、間もなく決着するでしょうが、採用されましたら横浜市内の会員を筆頭にご協力をお願いします。日本最大の政令都市に足跡を残すのは大きな意義があると自負しております。

また、相模原市の会員からは、グリーン教育支援システムへの参加提案があり、県に働きかけております。このように皆様の積極的な参加で情報の交換、啓発を蜜にし、ご意見、ご提案をお待ちしております。よろしく願いいたします。

# 平成18年度 神奈川県環境学習リーダー会総会報告

事務局長 大森 勝

平成18年度総会は、平成18年5月13日(土)13時から神奈川県環境科学センターで開催されました。当日は、会員38名、環境科学センターの飯田所長、環境学習担当の野崎、田中両氏が来賓として出席されました。

総会は、柳川三郎氏の総合司会で執り行われ、安丸代表挨拶に続いて、来賓の飯田所長からリーダー会の今までの協力に感謝すると共に、今後とも協力して環境問題に取り組んでいただきたいとの挨拶がありました。

次に議長選出に移り、木本光昶氏が選任されました。資格確認では、大森勝事務局長から、会員総数167名、委任状を含めた出席数126名(会場の出席者数38名)で、本総会は成立するとの報告がありました。

又議長は、書記に狩野光子、杉山陽絵両氏、議事録署名人に木本議長、北村博子氏、山田あやこ氏を指名して議事に入りました。

議事は、総会案内に同封された「平成18年度 神奈川県環境学習リーダー会 総会資料」(以下資料と略称)に基づいて進行されました。

## 第1号議案 平成17年度事業報告承認の件

事務局長から総会資料に基づいた報告があり、賛否を挙手により諮り、原案通り承認されました。

## 第2号議案 平成17年度収支決算報告、監査報告承認の件

鎌田会計担当から資料に基づいて報告がありました。引き続き北村監事より監査報告があり、会計監査の結果は適正であったとの報告がありました。

議長は、本議案の賛否を挙手により諮り異議なく承認されました。

## 第3号議案 平成18年度役員選出の件

大森事務局長から資料に基づく説明が行われ、原案通り承認されました。

## 第4号議案 平成17年度事業計画、および5号議案 平成17年度予算案

議長より、4号議案(事業計画)及び5号議案(予算)は、相互の関連が深いので一括審議したらどうかとの提案があり了承され、それに基づき議事は進行されました。

4号議案は、大森事務局長、5号議案は鎌田前会計担当から資料に基づき説明がありました。

18年度事業計画の報告の要点は以下の通りでした。

- ・ NPO法人格の取得を検討する。
- ・ 横浜市の協同オフィスに事務所を設置し活用する。

NPO法人格取得の検討については、安丸代表より趣旨等補足説明がありました。

18年度予算案の報告の要点は以下の通りでした。

- ・ NPO法人格取得に関する費用は、本予算には見込んでいない。
- ・ 事務所費用は施設料に組み込んだ。
- ・ 情報コーディネーターの協力金は、情勢の変化により減少させた。

予算案説明の後、質疑応答に入りました。主要な質問及び提案内容は以下のものでした。

### (1) NPO法人化の取得検討

- ・ 提案に賛成だが、検討スケジュール等を開示してほしい。
- ・ 会員の制約に対する対応はどう考えるのか。
- ・ 認定NPO法人の検討も進めてはどうか。
- ・ 検討の過程で会の理念を明確にすべきである。

以上の質問・提案に対し、代表より検討の過程において、皆様の意見、提案を重視し、県担当部署の指導を得ながら、ホームページ等を通じて報告すると共に、必要に応じ会員との意見交換会等を通じ、出来るだけ会員総意のなかで推進したい。

### (2) 予算関連

- ・ 繰越金等の関連が明確でない。
- ・ 基本方針等に会員の研鑽の重視がうたわれているが、予算的にその費用が明確でない。
- ・ 一般・特別会計の収支差額が、予算総額の割には大きい。もっと活用すべきではないか。

以上の質問、提案に対し、予算表示に関しては、次年度で改善すること、予算の活用については、役員会の場で検討を進めると回答がありました。

質疑応答の後、議長は本議案の賛否を議場に挙手により諮り、原案通り承認されました。

以上全議案の審議が終了した後、退任役員の挨拶、安丸代表による新役員の紹介の後、柳川司会の閉会宣言があり平成18年度総会はすべて終了しました。

## 神奈川県環境科学センター 新所長訪問

広報部 黒澤 宏

4月12日14時から、新しく神奈川県環境科学センター(KERC)の所長に就任された飯田和義氏他幹部、担当者を訪問し約1時間懇談した。

センター出席者は、飯田和義所長、情報交流部の倉石隆介新部長、野崎さん、K・リーダー会からは、安丸、柳川、大森、立石、黒澤が参加した。

K・リーダー会の会員の多岐に亘る活動についての話に始まり、環境科学センターとK・リーダー会の今後のあり方、環境科学センターの進むべき方向およびK・リーダー会が主体的に行っている活動への要望等多岐にわたり非常に有意義な時間を過ごした。

所長の経歴をお伺いすると、県庁に入った時から自動測定器の關係に携わり、その後行政センターでの大気を中心とした工場指導を経て、再度県庁に戻り自動車公害対策を主に自動車に永く携わってこられた。その後環境影響審査を担当した後、平成9年から11年までKERCで3年間水質の副部長として活躍され、その間に芦名処分場に関連して、キボシゲンゴローの生態調査に携わり、その後又本庁で水

源環境税問題に関係していたとのことで、大気汚染を主体とし、水環境関係、KERCでの研究活動と、K・リーダー会の活動と非常に身近なところを担当されていたとのことである。

そのせいもあってか、赴任後間もない時期にも拘らず、意見交換の間も多岐に亘る環境問題の話題に対して、明快にお考えをお聞かせ頂いた。

終了後、KERC玄関前で飯田所長を中心に参加者全員で記念写真を撮った。



## 役員退任の方々のメッセージ

### 仲間のありがたさを心の糧に

前副代表 柳川 三郎

4年間のK・リーダー会における役員を終えて、会員皆様の多面にわたるご指導によって、私は大きく変身することが出来ました。1つはちょうど県がアジェンダ推進の時期と同じくしたことです。この推進で役員各位の目が輝き中核たらんと志です。30年後への「子どもたちからのメッセージ」での地元みずほ小学校をはじめ松田と川崎へも参加させていただきました。翌年はグリーン教育支援(試行)・地球温暖化防止活動での活動、3年目のグリーン教育支援での小学校への参加において子供たちの熱心な学びはこの上ない喜びでした。

部会活動で水から大気、ごみ、グリーンとたくさんの部会員と共に頑張れたことです、ケナフ・エネルギーの人たちからも環境学習を指導していただきました、水は今でも私のライフワークです、私にとって、地域の自治会長の立場を兼ねていたことは、

環境学習で得た知識をすぐに実践の場として環境保全に生かせることは幸せです。

現在は、平塚市全体の自治会長・市民への環境改善啓発活動の歩みを継続中です、この6月環境月間での古布でのぞうり作り・新聞カラー広告を活用してのコサージュ作りは募集開始と同時に15分で定員をオーバーした状況です。皆様、努力を重ねて更なる仲間を増やすことは心が充実しますよ！





## 退任にあたって

前会計担当 鎌田 英光

この度、退任することになりました。これまで役員諸兄、会員の皆様はじめ、関係各方面の皆様には、大変お世話になりましたことを心から感謝申し上げます。

短い間ではございましたが、皆様のご支援により何とか役目を果たせ、ホットしていますが、この間、

いろいろの方々とお会いでき、貴重なご意見や感動を頂いたことは、新たな喜びであったと感謝しております。

当リーダー会も、年々内容の充実を遂げ、県下の環境学習分野での確固たる地位を築きつつあるように思われます。

今後とも、役員皆様、会員皆様の協力により、さらに充実発展に努められることを祈念しております。

## 退任にあたって

前ケナフ部会担当 安部 洋子

平成 15 年から事業担当役員として、部会との連絡、リーダー会の事業の一端に関わらせていただきました。大事な時にパソコンの具合が悪くなって、メールが出来なくてご迷惑をかけたこともありましたが、同じ志を持つ様々な経験や見識の豊富な方々との交流は私にとって収穫でした。私が環境学習リーダー会講座を受けてから 10 年以上の月日が経ちましたが、その間、企業や行政の力の入れ方、技術も格段に進歩しました。人々の意識もかわりました。リーダー会も立派になり知名度も高まってきました。

「もったいない」という言葉は以前はお年寄りからの口から出る言葉と思われていましたが、ケニアのマータイさんのお陰で市民権を得ました。でもゴールデンウィーク中、サービスエリアに家庭ゴミがたくさん持ち込まれ、大変だったと報じられましたが、それを見ている子どもたちの将来が心配になります。子どもたちには人間が本来持っている自然の心地より体験をさせ、感性を育てていくべきだと思うのです。自然や、物、人への思いやりも生まれてくるでしょう。最後になりましたが、会の見学会や催しには役員だけでなく皆さん参加してください。皆さんの今後の活動が実り多いものとなるよう願っております。

## 退任の挨拶

前大気環境部会担当 立石 定己

役員会の大気担当役員としてこの一年間リーダー会各種行事や大気部会関係行事などに参加しました。この間の役員会活動を通じて特に感じたことを二つ申し上げます。一つはリーダー会行事や共催活動などで各部会の活動成果を一堂に会して見る機会ができ環境保全の幅広い知識を得ることが出来た事、二つは各種環境展や報告会などの会場がもっと大勢の人達で盛況であって欲しかった事であります。

環境保全の活動は広い分野にわたります。また見に来てくださる市民の関心事もいろいろとあると思います。リーダー会としてその思いを実現すべく総合的な環境保全活動の成果を提供できることは実にすばらしい事だと思います。しかしその成果をいかに多くの人達に見ていただくことが出来るのか、このためには何をやらなければならないのかが大きな課題であると思う。

今後ともリーダー会の特性を生かし、人々の注目を集めることのできる新しい発想と新しい時代感覚で新規の事業を起こし、この会がますます進歩発展することを期待しています。

## 退任の挨拶

前水環境部会担当 植松 均

1 年間という短い間でしたが、水環境部会の担当役員をやらせていただき、ありがとうございました。御礼申し上げます。役員として反省することばかりでしたが、役員会や部会の在り方を学ば

せていただきました。今後の活動に生かせるようにしていきたいと思っております。

新年度を迎えたリーダー会のますますのご発展をお祈り申し上げます。



# 神奈川県環境学習リーダー会の 事務所開設について

副代表 吉田 榮一

特に諸先輩の方々からご要望が寄せられていた神奈川県環境学習リーダー会の事務所が平成 18 年 4 月から横浜市市民活動共同オフィス内の事務スペースに開設しました。会員各位には下記事項を参照され、大いにご利用くださいますようお願いいたします。この事務所開設により横浜市との協働事業の提案、共同オフィスの媒体や会合を通じて多くの機関に K・リーダー会の活動などの PR や連携ができるようになります。

## K・リーダー会の事務スペース

場所：みなとみらい 21 クリーンセンタービル 7 階の S-2 ブース（右側窓際）

占有設備：机・椅子・キャビネット、100V コンセント 各 1

## 横浜市民共同オフィスとは

公益的な市民活動を行う団体に活動の場を提供し、様々な方々の参加・参画を経て協働した活動を行っていく市民活動の拠点

## 開館時間・休館日

< 開館時間 > 平日・土曜 9:00 ~ 22:00  
日曜・祝日 9:00 ~ 17:00

< 休館日 > 年末年始、月 1 ~ 2 回の点検日等  
(共同オフィス HP に掲載される)

## 利用方法

入室時に管理運営団体ブース（入口すぐの右側）前にある用紙に必要事項を記入する。

環境学習リーダー会としての運用規定については検討中です。

当面、利用された方（先着順）は S-2 の机の引出（右側一番上）にあるノートに氏名等を記入する。

K・リーダー会の管理責任者：大森事務局長

## 施設内容（入居団体のみ使用可）

- ・ 会議室：10 名程度（無料 要現地での予約：夜は各団体 3 回/月まで）
- ・ 交流スペース：（長机 2+椅子 2）× 2 スペース（先着順）
- ・ ワークスペース：コピー機 10 円（用紙代込み）
- リソグラフ：製版 1 枚 100 円、用紙 持参
- その他：シュレッダー、紙折り機、作業スペース
- ・ 作業室：事務机・椅子 各 2（エレベータ近くの別室：先着順）
- ・ 共有パソコン：インターネット、ワード、エ

クセル（先着順 無料）

プリントアウト：A 4 10 円、A 3 20 円、カラー 3 倍

データは USB メモリなど利用（PC への保存不可）

なお LAN 線（30m）利用も可（詳細 管理運営団体と要相談）

- ・ チラシ展示・配布用ラック：各団体用として 2 箇所各 3 スペースあり

その他

- ・ 入居団体の交流と学び合いの場として月 1 回程度「はなそう会」が開催されます。夜に一品（酒類を含む）持ち寄りでの参加ですが、交流の輪を拓げる場として、また K・リーダー会の活動状況の PR の場としても活用できます。希望される方はご参加ください。（開催日は HP に掲載）

横浜市市民活動共同オフィス

- ・ ホームページ

URL：<http://www.kyoudou-office.jp>

この HP には入居 15 団体の紹介、施設概要、アクセス、休館日などが掲載されています。

- ・ 所在地等：

〒231-0062 横浜市中区桜木町 1-1-56 みなとみらい 21 クリーンセンタービル 7 階（地図参照）

連絡先 TEL：045-641-0070

FAX：045-641-0071

e-mail [info@kyoudou-office.jp](mailto:info@kyoudou-office.jp)

（管理運営）特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

アクセス：JR「桜木町」駅下車 徒歩 8 分、  
市営地下鉄「桜木町」駅下車 北 1 ゲートより 徒歩 9 分  
みなとみらい線「みなとみらい」駅下車  
クイーンズスクエア連絡口より徒歩 10 分  
横浜市営バス「紅葉坂」バス停より徒歩 3 分



市民活動共同オフィス 案内図

# 「18年度子ども環境体験教室」 5年目の開催！

子ども環境体験教室担当 吉田 榮一

神奈川県環境科学センター主催、K・リーダー会協力で開催される「子ども環境体験教室」は平成18年度で5年目を迎えました。昨年度、一昨年度とも応募者が多く、環境科学センターのご配慮で、予定の5教室に2教室を加えた合計7教室を実施しました。昨年度の教室終了時のアンケートでは子供たちの約9割が「楽しかった、また環境のことについてわかったり考えたりするようになった」と答えています。

本年度は環境科学センターの以下のご意向に沿って、また今までの経験を活かして昨年度よりさらに充実させるように各代表講師を中心に関係部会で企画内容の詳細を検討しております。

1. 趣旨：体験を通して、環境に対する関心や意識を高めて、子どもの心に残る体験的要素の大きい教室にする
2. 対象：小学校の4年から6年生、保護者同伴歓迎
3. 教室数・定員：5教室、1教室定員は24名最大28名まで受け入れ可。応募者が多い時には追加教室可
4. 開催場所：神奈川県環境科学センターの実習室、

## 平成18年度

### 「環境情報コーディネーター」について

代表 安丸 元一

平成17年度まで環境情報コーディネーターとしてご尽力頂きました方々には、数年にわたるご活躍と、当会へのご協力に対しお礼を申し上げます。

さて、神奈川県は平成18年度の環境情報相談業務を、NPO法人かながわアジェンダ推進センターに委嘱しました。公募条件等はメールにて発信しました公募資料でご存知の通りです（応募者は、電子メール等使用者との条件があります）。業務内容は17年度と同じで、勤務条件には多少の変更がありますが、皆様からご応募いただき有難うございました。

4月末に、当センターの藤崎英輔担当理事から、応募内容を審査しました結果、応募者全員にお願いするとの連絡を得ましたので報告します。

コーディネーターの方々には、1年間のご活躍と当会へのご協力をお願いします。会員の皆様には地域の市民をお誘いされ多くの方々が相談コーナー（かながわエコボックス）をご利用いただけますよ

学習室、センター広場等、補助的に会議室可

5. 実施時期・時間：夏休み中、土日可、時間は半日（少し超えてもよい）

6. 教室内容：環境への関心の喚起や動機付けを大切にした内容、集団で体験が可能な内容  
開催する教室の内容は表の通りです。昨年と同様に講師の方々のご協力をお願いします。

No.	教室名	日時	代表講師
1	ツバメ・アサガオで環境チェック	7月21日（金） 13:00～16:00	猪股 満智子
2	古紙の紙管で写真立てを作ろう	7月27日（木） 10:00～15:00	高尾 行一
3	ソーラークッカーを作ろう	7月29日（土） 10:00～14:00	狩野 光子
4	節電コンセントを作ろう	8月19日（土） 13:00～16:30	北村 博子
5	ケナフを使った自分だけのハガキを作ろう	8月24日（木） 10:00～15:00	荒谷 輝正

問合せ先：神奈川県環境科学センター 情報交流部  
環境学習担当 田中 慶次  
TEL：0463-24-3311，FAX：0463-24-3300  
E-mail：tanaka@k-erc.pref.kanagawa.jp

うお願いします。

- |            |               |    |
|------------|---------------|----|
| 1) 内藤 克利   | 神奈川県環境学習リーダー会 | 継続 |
| 2) 鎌田 裕二   | 同 上           | 新規 |
| 3) 吉田 榮一   | 同 上           | 新規 |
| 4) 香川 興勝   | 同 上           | 継続 |
| 5) 中島 信久   | 同 上           | 継続 |
| 6) 石丸 博司   | 同 上           | 継続 |
| 7) 北村 博子   | 同 上           | 継続 |
| 8) 西 寿子    | 同 上           | 継続 |
| 9) 斉藤 美代子  | 同 上           | 継続 |
| 10) 木本 光昶  | 同 上           | 継続 |
| 11) 杉村 慶一郎 | かながわカウンセラー協議会 | 新規 |
| 12) 前田 朋英  | 里山研究所         | 継続 |
| 13) 青木 正美  | アジェンダ推進センター   | 継続 |
| 14) 牧島 信一  | 同 上           | 継続 |





## 地球温暖化防止活動推進員研修事業の 基礎研修への講師派遣について

代表 安丸 元一

NPO 法人かながわアジェンダ推進センター（神奈川県地球温暖化防止活動推進センター）は、平成 18 年度も財団法人 日本環境協会から地球温暖化防止活動推進員等研修事業を受託しました。この研修事業は、以下の 3 研修で構成します。

- 1) 地域推進計画研修 ; 神奈川の地球温暖化対策地域推進計画が策定されたのを受け、その内容を十分理解し、自らの役割を認識し活動に取り組むことができるようになること。
- 2) 基礎研修 ; 地球温暖化防止推進員及び予定

者が、地域で地球温暖化問題へ市民の関心を誘い、市民自らの生活の中で、対策を推進するよう動機づけ、実践するために必要な基礎的な知識とスキル（技能）を身につけること。

- 3) テーマ別研修 ; 「新アジェンダ 21 かながわの行動計画」にあるテーマ別に専門的な知識とスキルを修得すること。

今回、当センターの基礎研修担当理事として、K・リーダー会各部会長等に講師をお願いして計画しております。まもなく財団法人 日本環境協会の承認を得られると思います。その節は改めてご報告しますので、地域の推進員或いは、今後推進員に応募される方々へ参加をお誘いいたしますようお願いいたします。

## 部会活動

### エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

活動報告（18 年 4 月～18 年 5 月）

#### 4 月度定例部会

4 月 11 日（火）13:00～15:00

会場：県民サポートセンター 705 号室

参加者：北村、大森、中島、児玉、岩沢、吉田、小田、鎌田、安藤、

K・リーダー会役員会の報告

親子で楽しむ環境展について

基本構想承認と役割分担

情報交換

- ・ 地球シミュレーターの見学報告
- ・ 小売業におけるエネルギー消費について（流通過程での消費も大）

コンビニやスーパーの環境報告書から算出すると、販売額 1000 円あたり、約 1KWH の電力消費と 400g 近い CO<sub>2</sub> の排出していることになる。

また、ある外食チェーン店では店舗あたり、平均家庭 100 軒分の電力を消費している。

#### 5 月度定例部会

5 月 9 日（火）13:00～14:00

会場：県民サポートセンター 702 号室

参加者：北村、大森、鎌田、小田、岩沢、香川、中島、藤木、吉田、安藤

総会として

・ 17 年度決算および 18 年度予算：承認

・ 18 年度活動方針：承認

部会として

K・リーダー会役員会報告

部会員への要望事項

・ 居住市町村の環境報告書入手

・ 環境家計簿の継続

親子で楽しむ環境展

進捗状況確認

情報交換

（この 50 年での環境負荷は激増：世界）

自動車登録台数：10 倍， GDP：7 倍，

CO<sub>2</sub> 排出量：4 倍， 発電容量：21 倍

エコロジカルフットプリント：2.5 倍

食肉生産：3.3 倍， 漁業生産：6.5 倍

とうもろこし生産：4.5 倍， 食肉生産：3.3 倍

脊椎動物個体数：30 年で 40% 減， 等々

#### 活動予定（18 年 5 月～7 月）

1. 定例部会（於：県民サポートセンター）

6 月 14 日（水）13:10～15:00 708 号室

7 月 12 日（水）13:10～15:00 708 号室

2. 参加行事

6 月 17 日（土）「親子で楽しむ環境展」





# ケナフ部会

ケナフ部会長 荒谷 輝正

ケナフ部会員が携さわった 2006年4月～2006年5月までの活動及び6月～7月迄予定について報告します。

## 1. ケナフ部会定例会

3月27日 神奈川県環境科学センターの圃場で8年目(1999年以来)のケナフ栽培の準備で、圃場の耕運をした。従来は鋤で畑起こしをしていましたが、環境科学センター野崎さんの御助力で耕運機を使っての畑起こしをすることが出来ました。雨後の後の作業で少し、土がぬかるんでいましたが無事、予定の作業を完了しました。

4月20日 4月の月例定例会を開催

ケナフの種蒔きを実施しました。種は現在ケナフ部会が持っている、いろんな種類の種を蒔きました。6列の畝に、環境科学センターで取れた種(青皮3号)、小川さんが自宅のベランダで採取した種 愛知3号、その他は、5月に蒔く予定にしました。

5月19日 5月の月例定例会を開催

ケナフの種を(4月に蒔かなかったところに)蒔きました。湖江1号、アメリカ産エバグレー ホワテン、花オクラ(トロロアロイ)、浙江、タイ産ローゼル、コンケンの10種類の種を蒔きました。なお、4月に蒔いた種も半分程度しか芽が出ていないので、補植しました。今年は天候異常か芽の出が悪いようです。

6月17日の「親子で楽しむ環境展」の準備、及び

当日の分担について検討しました。当日は今年から、ワークショップとして、リサイクルした段ボールを使った、作品作りをしたいとの実行委員会からの要望がありましたので、古澤さん(1期)と相談して、余り時間が掛からず、かつ危なく無い物として、貯金箱を検討し、5月のリーダー総会で一部の方に見て頂き、賛同を頂きました。

この間の活動内容は

<http://members2.jcom.home.ne.jp/rewood/whatsnew.html>に紹介しましたので、ごらんください。

## 2. rewood クラブの活動状況

rewood クラブとは第一期の古澤正信さんが相模原市の日本化工機材(株)に持って居られる工房です。日本化工機材(株)から出る段ボールの廃材を使っているような工作をされていますが、この度リーダー会の会員にも大いに利用して欲しいとの希望から、ホームページを私(荒谷)が担当し、活動を紹介したいと思いますので利用してみたい方は荒谷(Tel, Fax: 042-754-3256)にご連絡ください。

ホームページは

<http://members2.jcom.home.ne.jp/rewood/>です。まだ、未整備部分も有りますが、いろいろとご意見をお寄せ下さい。

## 3. 今後の予定

6月定例会

6月9日 「親子で楽しむ環境展」の準備

6月13日 貯金箱用の材料準備完了

6月17日 「親子で楽しむ環境展」県民サポートセンター

紙漉、貯金箱作成 過去の活動内容展示

7月20日 7月27日環境科学センター主催の「子ども環境体験教室」

準備

7月27日 環境科学センター主催の「子ども環境体験教室写真立てを作ろう」 開講



3月27日畑の耕運



3月27日種蒔き準備完了



4月20日種蒔き完了。



5月19日全ての種蒔きを完了しました。



周囲の草を刈りました。

## 自然環境部会

部会長 近藤 作司

### 活動報告 (4月~5月)

#### 1. 部会

4月1日(土) 13:00~17:00

場所: 横浜市民活動支援センター

出席者: 安丸、高橋、岩田、藤田、近藤

- (1) 次期体制; 部会長に藤田滋氏、同時に担当役員として推薦する。
- (2) 『森林・林業』専門講座のうち、現地視察関係を一般会員に呼びかける部会事業とするか検討。主催者及び講師山縣氏と折衝することとした。
- (3) 6月「親子で楽しむ環境展」について検討。自然観察及び農産物収穫体験の部活動並びに外来生物をテーマとするパネルポスターを展

示する。

#### 2. 環境展展示物等検討打合わせ

4月22日(土) 10:00~12:00

場所: 県民サポートセンター(エコボックス)

出席者: 安丸、藤田、近藤

- (1) ポスター原稿チェック、構成決定
- (2) その他展示物及び協力先折衝  
環境省自然環境局野生生物課; リーフレット類、外来生物写真  
県環境農政部緑政課自然公園班; パンフレット、ポスター類  
県立座間谷戸山公園; パンフレット  
横浜自然観察の森; ガイドマップ  
県自然保護協会; ポスター

#### 3. 環境展実行委員会出席(近藤、藤田)

第5回 4月17日(月) 10:10~12:00

第6回 5月8日(月) 10:10~12:00

## 大気環境部会

部会長 猪股 満智子

新ホームページに新 map データ掲載

### 活動報告 (4月~5月)

5月22日(月) 10:00~12:00

湘南平へ大気指標生物の一つウメノキゴケ類の観察

5月22日 13:30~16:30 KERC 実習室

部会と18年度6月度NO<sub>2</sub>測定準備

各行政区にある共通の地点を抽出、定点化し、各地域のNO<sub>2</sub>濃度を比較できるように測定点の整理・統合等を行い、再調査データとする。

タンポポ調査書まだ間に合います!

### 活動予定 (6月~7月)

4月1日~5月31日 新タンポポ調査〆切

調査エリアを自宅半径500mに狭め、4種(カントウタンポポ・セイヨウタンポポ・シロバナタンポポ・その他のタンポポ)に分類し、本数を報告。詳細はHP参照。提出期限6月30日

6月1日夕6時(木)~2日(金)の24hr NO<sub>2</sub>測定

6月10日(土)13:30~ KERC 実習室

NO<sub>2</sub>分析

6月17日(土)10:30~16:30 県民サポートセンター

「親子で楽しむ環境展」に出展、分析体験も

テーマ「家庭でCO<sub>2</sub>を一番出しているのは車。では空気の汚れは?」

6月29日(木)13:30~ 大船NPOセンター(大船駅西口西へ2分)

VOC(揮発性有機化合物)・PRTRプロジェクトスタート。部会員以外に興味をお持ちの方、ご参加ください!

7月6日(木)13:30~ 大船NPOセンター

自然系マッピングプロジェクト

自然度調査の地図入力手法講習会

ノートパソコンお持ちの方はご持参下さい

7月21日(金)13:00~ KERC「子ども環境体験教室」

ツバメの巣を探して、報告ください! 詳細別紙

種類	巣の数	住所
ツバメ コシアカツバメ イワツバメ		

## 水環境部会

部会長 斉藤 昭一

### 酒匂川探水隊

5月21日今年初めての探水隊活動を行った。JR松田駅(山側)9時集合、参加人員、杉崎、柳川、

村上、猪股、斉藤の5名、杉崎氏の計画案に従っての行動となる。最初のポイントは開成町総合グラウンド下のところである。

上流の地点を杉崎、柳川、村上のメンバーで調査、下流を猪股、斉藤で調査する。

気温 23 水温 16.5 PH 8.0 COD 8.0  
オオヤマカワゲラ、チラカゲロウ、カゲロウ、オ

タマジヤクシ、ハヤの稚魚を確認する。地上ではミカドアゲハ、ナガサキアゲハのオス、オオヨシキリのヒナ、コサギを確認した。11時第2ポイントにつく川音川が酒匂川本流と合流するところである、魚道のすぐ上のポイントを全員で調査した。

気温 21.5 水温 15 PH 8.7 COD 7.0

ヒラタカゲロウ、フタスジモンカゲロウ、スジエビ、トビゲラ、シマドジョウ、シマイシヒルを確認する。この日の大収穫はまず村上氏である。大きな声で呼ぶので駆けつけると20cmほどの長方形の石の裏の張り付いている約3mm弱のヒメモノアラガイを発見したのである、続いて猪股さんも発見した、さらにサカマキガイも見つけたのである。この地域の周辺で外来種が発見された事は大変に珍しいこと

である。

陸上でツバメ、トンボ、ムクドリ、を確認、...

盛んに水面に魚体を光らせて跳ねるアユ、まもなく解禁をなる6月1日さぞや太公望たちにとっては待ちわびる日であるとおもう。

酒匂川探水隊の次の活動日は6月25日(日)松田駅(山側)に9時集合である。これからは堤、堰堤、堰などにより分断されている河川で海から上ってくる小魚類の分布状況を2年間の計画で調査する予定です。皆さんの参加を心からお待ちしている次第であります。アユ踊る素晴らしい大自然の大河、酒匂川で充実した1日を過ごして見てはいかがでしょうか。

## 廃棄物GO3部会

部会長 原園 信夫

(1)2006年(本年)4月から各市町村で運用されている「ゴミの出し方」のパンフレット(カレンダー)を集めています。次の市町村へお住まいのK・リーダーの方がいらっしゃいましたら、お住まいの地区のゴミの出し方カレンダーを原園までお送り頂けたら幸いに存じます。ご協力をお願いいたします。

伊勢原市、大井町、開成町、川崎市、逗子市、中井町、箱根町、秦野市、葉山町、松田町、三浦市、南足柄市、山北町、横須賀市、横浜市、

(2)平成16年度の「一般廃棄物処理事業の概要」が出版されました。いつも2年遅れのデータが4月に発表されます。

その中からポイント

- ・家庭から廃棄されるゴミの量が始めて全国平均を大きく下回り、1,034g(全国平均15年度1,106g)前年比で88g(7.8%)の減量になりました。
- ・ゴミ処理・管理にかかる費用は16年度は1,055億円、一人当たり31,968円かかっています。

## グリーン部会

部会長 杉山 陽絵

<活動報告>

4月16日 ミーティング

- ・グリーン教育支援事業の振り返り
- ・今年度の活動について意見交換  
自治会やスーパーとの連携を検討していくこととなった

グリーン購入ネットワークへ入会することとした

秋に勉強会を開催予定

- ・「親子で楽しむ環境展」の出展内容の検討

<今後の予定>

- ・「親子で楽しむ環境展」準備
- ・自治会・子供会での夏休み教室実施の検討

= 豆知識のページ =

## 環境の日、環境月間

広報部 長村 吉洋

環境基本法第10条は、次のように定められています。

(環境の日)

第10条 事業者及び国民の間に広く環境の保全につ

いての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、環境の日を設ける。

2 環境の日は、6月5日とする。

3 国及び地方公共団体は、環境の日の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

もともと、「環境の日」ならびに「環境月間」は、



1972年6月5日から16日まで、スウェーデンのストックホルムで開催された国連人間環境会議に基づいており、国連総会で世界的な記念日として定められたものです。日本では、1993年「環境基本法」が成立した年に記念日として定められました。しかし、この日は祝祭日ではないために、一般的にはあまりなじみが薄いのですが、国や地方公共団体が、種々の行事を行わなければならないように定められていることから、多くの環境イベントがあちらこちらで行われることになっています。

環境省から発表されている今年平成18年度の「環境の日」を中心とする「環境月間」の行事实施要領によれば、

- ・体感、体験を通じ気づきから行動へとつなぐことに重点を置く。
- ・地球温暖化防止大規模国民運動「チーム・マイナス6%」など種々な普及啓発活動と連携を図っていく。
- ・新たな環境技術・製品・ビジネスモデルの紹介や地域の活性化など、環境と経済の好循環を視野に入れて進める。
- ・国、地方公共団体、企業、民間団体、国民の参加と協力の下に実施する。
- ・特に、環境省地方環境事務所などを通じ、地域の各主体と協力した普及活動を進める。

ということを重点に、環境保全活動の普及、啓発に関する各種行事等を実施し、国民一人ひとりが自らの生活・行動を見直していくきっかけ作りを目指す」と述べられています。

さらに、行われる行事として、

環境省重点テーマ

- ・クールビズをはじめとした地球温暖化防止大規模国民運動「チーム・マイナス6%」キャンペーン
- ・「もったいないふるしき」をはじめとした循環型社会構築への取組
- ・省エネ機器の買い換えなどのエコ商品選択の推進行事例及び広報

## 環境月間イベント情報

広報部 杉山 陽絵

6月は環境月間です。県内各地で予定されているイベント情報を集めてみました。

事前申し込みが必要なものも含まれていますので、問合せ先へご確認の上、お出かけください。

6/1～23 環境展

環境団体等の活動展示、ずしし環境会議の提案、学校

・意識の啓発：講演会、シンポジウム、セミナー、映画会等のつどい

・知識の普及：環境展、環境保全型商品の展示、低公害車フェア、フリーマーケット、施設の公開、工場等の見学

・実践活動：リデュース・リユース・リサイクル活動、アイドリング・ストップ等のエコドライブ実践、環境家計簿、夏の軽装（冷房温度の適正化）等地球温暖化の防止に手応えを得られる活動、清掃・植樹等の地域美化運動、自然観察会等自然に親しむ野外活動

・顕彰：環境保全功労者、環境保全作品等の表彰などが実施されるように、広く呼びかけています。

当K・リーダー会でも、6月17日（土）10:30～16:30に、横浜駅西口から数分のかながわ県民センター1階で『第5回 親子で楽しむ環境展』を、かながわアジェンダ推進センターと共催で開催します。この環境展のために、各部員の皆様ならびに報道関係に詳しい新広報部長 鎌田裕二さんが積極的な準備活動をして下さっています。新しい会員の皆様も、ぜひ、お子様、お孫様を連れて、ご家族でお出かけください。楽しめると思いますし、参加されているいろいろな意見もお寄せいただければ、今後の活動の参考になるでしょう。そして、次からは、皆様が主役（リーダー）となって環境展だけでなく、夏休みに開かれる『子ども環境体験教室』にも是非ご参加くださるようお願いいたします。

6月の環境月間にちなむ種々のイベント情報を杉山陽絵さんが集めてくださいました。これらのイベント情報は、K・リーダー会のホームページからでもご覧になれます。また、新たに加わったイベントは、随時、ホームページで更新する予定です。

環境省による行事については、次のホームページ <http://www.env.go.jp/guide/gyouji/index.php> をご覧ください。

での取り組み紹介など

日時：6月1～11 環境展、6月10～16日 ずしし環境会議展 6/19～23 学校環境展

会場：逗子市 市役所1階市民ホール

問合せ：逗子市環境管理課 TEL：046-872-1431

6/1～ 第10回はやま環境フェスタ～活かそう資源・まもろう環境～

<環境パネル展>

日時：6月1日～6月7日 8:30～17:00

会場：役場1階ホール

- <環境連続講演会>  
 日 時：6月4日・18日・25日 時間未定  
 会 場：役場4階大会議室、福祉文化会館ホール
- <はやま環境フェスタ>  
 フリーマーケット、展示、体験など  
 日 時：6月25日 9:30～14:00  
 会 場：福祉文化会館内及び周辺  
 問合せ：葉山町役場環境課 TEL:46-876-1111(内線223)
- 6/3 かわさき水道フェア  
 日 時：6月3日 10:00～13:00  
 主 催：川崎市水道局、(財)川崎市水道サービス公社  
 会 場：川崎市宮前区鷺沼3丁目1番  
 問合せ：川崎市水道局庶務課 TEL:044-200-3097  
 FAX:044-200-3982  
 案内HP：  
<http://www.city.kawasaki.jp/80/80syomu/home/index.htm>  
 参考：「カップパーク鷺沼オープニングイベント」を同時開催
- 6/4 エコライフフェア2006春  
 日 時：6月4日 10:00～16:00(雨天中止)  
 会 場：小田原城址公園二の丸広場  
 主 催：小田原市  
 問合せ：環境政策課 TEL：0465-33-1471
- 6/4 さがみはら環境まつり～さあ！環境情報センターの出発だ！～  
 日 時：6月4日 11:00～17:00  
 会 場：麻布大学(JR横浜線矢部駅北口徒歩4分)8号館及びその周辺  
 主 催：相模原市  
 問合せ：さがみはら環境まつり実行委員会事務局  
 TEL：042-769-9248
- 6/5 第30回環境・公害研究合同発表会  
 日 時：6月5日 10:00～16:45  
 会 場：横浜市教育文化センター ホール  
 主 催：神奈川県環境・公害研究機関協議会  
 問合せ：川崎市公害研究所 TEL：044-355-5811
- 6/5～7 地球温暖化防止パネル展 ～どうなる！かながわの環境～  
 日 時：6月5～7日 10:00～19:00(最終日は18:00まで)  
 会 場：横浜駅東口新都市プラザ(そごう地下2階正面入り口前)  
 主 催：神奈川県地球温暖化防止活動推進センター
- 問合せ：神奈川県地球温暖化防止活動推進センター  
 TEL：045-321-7453
- 6/10,11 環境にやさしいくらし展～自然エネルギー・省エネルギー体験・環境学習まで  
 日 時：6月10日 10:00～16:00 6月11日 10:00～15:00  
 会 場：横浜駅西口 イベント広場  
 主 催：神奈川県地球温暖化防止活動推進センター  
 問合せ：ストップ温暖化ネットワーク TEL：090-1206-6370(佐藤)
- 6/10,11 環境&ごみフェスティバル2006  
 ツバル写真展、環境商品の展示・無農薬野菜の販売、ワークショップ、環境カフェなど  
 日 時：6月10,11日 10:00～15:00  
 主 催：環境&ごみフェスティバル実行委員会  
 会 場：市役所1階市民ホールと周辺  
 問合せ：逗子市環境管理課 TEL：046-872-1431
- 6/10,11 新エネルギー説明会  
 新エネルギーの導入や住宅用太陽光発電システムの設置費補助制度の説明会  
 日 時：6月10,11日 14:00～15:00  
 主 催：横須賀市環境部環境計画課  
 会 場：横須賀ハウジングセンター  
 問合せ：横須賀市環境部環境計画課 TEL：046-822-8524
- 6/15～30 海老名市環境展  
 啓発パネル、雨水タンク、太陽光発電パネル等の展示  
 日 時：6月15～30日(土日除く) 8:30～17:00(最終日は12:00まで)  
 会 場：市役所1F エントランスホール  
 主 催：海老名市環境保全課  
 問合せ：海老名市環境保全課 TEL：046-231-2111
- 6/16 住宅用太陽光発電 シンポジウム  
 ～太陽光発電(新エネルギー)から考える地球温暖化～  
 日 時：6月16日 シンポジウム 13:30～15:30  
 展示会 12:00～16:30  
 会 場：川崎市産業振興会館1階ホール  
 主 催：川崎市、かわさき地球温暖化対策推進協議会  
 問合せ：川崎市環境局総務部地球温暖化対策担当  
 経済局産業振興部新産業創出担当  
 TEL：044-200-2514
- 6/18 里山整備

散策路の整備、枝打ち、下草刈り

日 時：6月18日

主 催：秦野市環境農政部森林づくり課

会 場：渋沢丘陵

問合せ：秦野市森林づくり課 TEL：0463-82-9631

6/21～15 平塚環境展

市民団体等のパネル展示

日 時：6月21～15日

主 催：平塚市環境政策課

会 場：平塚リサイクルプラザ

問合せ：平塚市環境政策課 TEL：0463-23-1111

6/21-24 南足柄市環境フェア

各種パネル展示・工作体験・再生品販売等(予定)

日 時：6月21-24日 10:00～16:00(最終日は14:00まで)

主 催：南足柄市環境美化週間事業実行委員会

会 場：南足柄市役所

問合せ：南足柄市環境課 TEL：0465-74-2111

6月末 環境講演会(予定)

主 催：座間市環境対策課

問合せ：座間市環境対策課 TEL：046-255-1111

6/24,25 ちがさき環境フェア2006

環境団体等の展示・ワークショップ、講演会、報告会、映画上映、コンサートなど

日 時：6月/24,25日 10:00～

主 催：茅ヶ崎市・環境市民会議「ちがさきエコワーク」

会 場：茅ヶ崎市文化会館

問合せ：茅ヶ崎市環境政策課 TEL：0467-82-1111

6/24,25 藤沢市環境フェア

パネル展示、ソーラークッカーなどの体験、小中学生による発表・3分間スピーチなど

日 時：6月24日 10:00～20:30, 25日 10:00～16:00

主 催：藤沢市

会 場：藤沢市市民文化会館

問合せ：藤沢市環境管理課 TEL：0466-25-1111

7/1 第3回いせはら環境展

パネル展示、実践講座、講演会

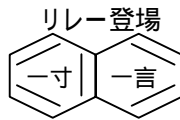
日 時：7月1日 10:00～17:00

主 催：いせはら環境展実行委員会

会 場：伊勢原シティプラザ

問合せ：伊勢原市環境保全課 TEL：0463-94-4711

## アイドリングストップ



小田原市 香川 興勝

アイドリングストップとは、自動車運転中に信号待ちや荷物の出し入れのちょっとした時間にエンジンを停止することです。不要なアイドリングを減らすことで余計なガソリンを消費せずに、二酸化炭素の排出量を削減し、大気汚染などの環境負荷を低減できます。このようなちょっとした私達の取り組みが私たちの地球温暖化を防ぐことにつながります。

最近、何秒以上アイドリングストップをすれば効果がありますか？ と尋ねられることがよくあります。

2000cc のガソリン車では5秒以上アイドリングストップすれば省エネ効果があります。それを図説したのが図-1です。すなわち、エンジンを始動するときに必要な燃料(斜線部分)はアイドリングの5秒分であり、これ以上アイドリングストップすれば省エネになるということです。

また、1日に10分間アイドリングストップすると約140ccのガソリンが節約されます(2000ccガソリン車の場合)。このガソリンから排出されるCO2

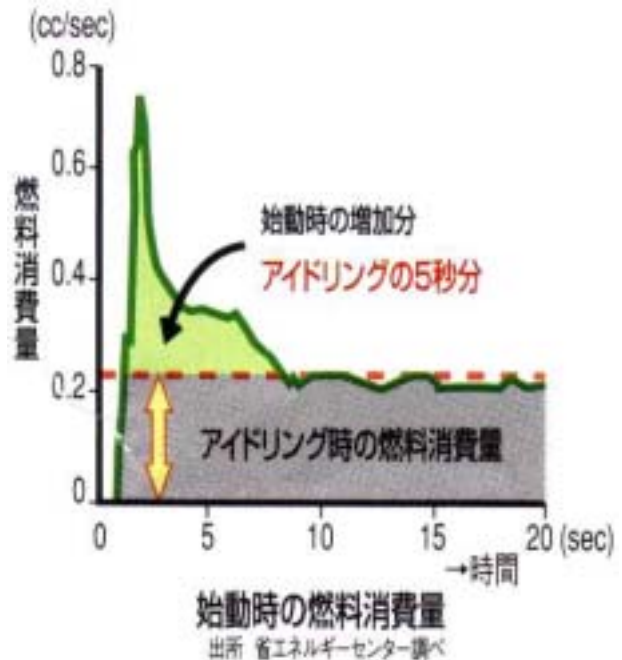


図-1.再始動時の燃料消費増加分に見合うアイドリングストップの最短時間

排出量は25インチのカラーテレビ8時間分に相当します。1年間で約51リットルのガソリンが節約でき、約120kgのCO2の排出が抑制されます。



小田原市では、4月1日から小田原城址公園駐車場に観光バスの運転手用の休憩室を設置しました。その目的は駐車中の観光バスのアイドリングストップの推進です。

この駐車場には、全国から年間約4600台の観光バスが来て、30分～2時間近く駐車し、その間に乗客は小田原城やその周辺を観光します。アイドリングストップ時間を平均1時間とすると排気量12,000ccの大型バスで1.8リットルの軽油の消費が

削減され、年間で燃費削減8,280リットル、金額にして約100万円の削減とCO2排出量22トンの削減ができます(これは平均家庭の4年半分のCO2排出量に相当します)。このようなインフラ整備による温暖化防止対策は多くの自治体で実施できる対策と考えられます。我々も行政・事業者等と協働で積極的に進めていきましょう。

今回は座間市在住の内藤克利さんをお願いしました。



写真 - 1 小田原城址公園駐車場のアイドリングストップ看板



写真 - 2 休憩室内の写真

## 掲示板

### 第5回 親子で楽しむ環境展

～地球の未来のために～

会員全員で、「親子で楽しむ環境展」を支え盛り上げましょう。

日時：平成18年6月17日(土)10:30～16:30

場所：かながわ県民センター1階展示場・102号室

内容：タンポポ、アサガオで環境しらべ

エコな買い物をしよう

エコライフ実践度チェック

ケナフでハガキを作ろう!

自然環境を知ろう!

学びと仲間づくりと行動を

ヨコハマの「そら」は大丈夫か

手と手をつなぎ地球に緑の風を!

循環社会は分別から

ミミズと考える土のしくみ

ガス管の廃材で、ペンダントを作ろう!

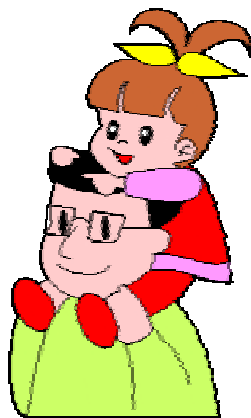
など

### 広報部からのお知らせとお願い

これまで広報部のメンバーとして活躍して下さっていた原園さん、羽生田さん、木本さんが、正式

に退部を表明され、残された広報部のメンバーは、黒澤前広報部長、杉山さんの他は旧メンバーがいなくなり、13期で入会した鎌田さんと長村さんとで、ほとんどの作業を行わなければならなくなり、大変負担が大きくなってしまいました。鎌田さんは広報部長に就任したばかりですし、旧メンバーの支えがなくてはとても広報部を維持できるものではありません。

本会報は、K・リーダー会にとって50号という記念すべきものなのに、会員の広場に投稿された原稿もなく、特集号として組む力も今の新メンバーにはなく、会員の皆様には、ちょっとがっかりかもしれません。



今後、K・リーダー会の広報活動を円滑に進める上で、これまでとは違った会員諸氏の積極的な参加をお願いしなければなりません。会報だけでなく、ホームページは、K・リーダー会がどのような活動をし、どのように神奈川県の問題ならびに環境学習に寄与している会であるのかわかるようなものにしなければなりません。

会員の皆様には有用な情報を提供するだけでなく、外からK・リーダー会の顔が見えるように、現在、

ホームページを改定しています。ぜひ、新しくなりつつあるホームページ

[http://members.at.infoseek.co.jp/k\\_leader/](http://members.at.infoseek.co.jp/k_leader/)をご覧ください。そして、こんな情報があればいいとか、こんな内容をアピールしたいとか、その他、ご意見、ご批判、なんでも結構ですので、広報部にお寄せください。

本号に掲載されている豆知識のページで紹介したイベント情報は、「環境関連イベント情報」をクリックすると見ることが出来ます。さらに、『リンク』には、環境関連サイトをまとめてみました。もっと便利なサイトがあれば、登録しますので、情報をお知らせくださるようお願いいたします。

さらに、K・リーダー会のホームページでは、過去3年間に発行された会報の一覧も載せてあります。今後、各部会のページの充実を図るだけでなく、会員専用の限定ページも設ける準備をしています。

これらの作業は、主に長村さんが一手に引き受けていますので、大変な時間と労力がかかります。今後、会員の皆様、各部会員の皆様にご協力をお願いすることになると思いますので、ぜひともご協力くださるようお願いいたします。

#### 会費納入のお願い

当会の活動は、会員皆様の会費により支えられています。18年度の会費をまだお支払いでない方は、同封しました振込用紙で、お早めにお振り込み下さいませよう、お願い申し上げます。

郵便振替番号：00230-4-30769

口座名：神奈川県環境学習リーダー会



#### 編集後記

私は神奈川県横浜市出身である。横浜市内の緑地の減少が急激に進み、昔のような蛙取りは、今はもうできないこと。浦島太郎伝説の残る「足洗川」の暗渠化と下水道化を見て、汚いドブ川は目の前からは消え去ったが、下水道の中は今も排水が流れていること。通った小学校の隣の火葬場からの茶毘に付される時の匂い、それが「生命」の儚さ故の大事さを思い起こさせたこと。それらの原体験が、今の私を環境問題に向かわせている原動力となっている。

今年度より「広報部長」を務めることになった。「リーダー会」に入会してからの日が浅く、広報

部長就任への不安も少なからずあるが、その不安を払拭できると思えるほど、入会以来の活動のなかで、諸先輩方の「熱意」を感じている。今後は「広報」の分野も加えてリーダー会全体に貢献できればと思う次第である。

「リーダー会」にとって「広報活動」の必要性和重要性には、二つの側面があると考える。

第一には、「会員」間の定期的な情報交換である。各会員は神奈川県下に広く点在して活動されていると思われる。年に数度は、全体で集合する機会（総会、環境展、市民活動報告会など）もあるが、会員全員が一同に会することは現実的には困難であろう。会員同士を結びつけるためには「会報」の定期的発行が必須と考えられる。

第二には、「会」の外部への広報である。「リーダー会」の活動予定や活動実績を、より多くの人たちに伝えることが「会」の活動の輪が広がることになると期待する。そのためには会報の発行に加えホームページからの情報発信を充実する必要がある。

更に付け加えるならば「環境問題」への対応には幅広いひとたち、究極的には全国民の意識や行動を変えていく必要があると思われる。「地球の未来」に対して今日は関心がない人たちにも、迫りくる「地球の危機」を伝えていく必要がある。

最後に、会員の皆様へ二つのことをお願いしたいと思う。ひとつめは「広報部」の活動への参加である。より具体的には隔月に行っている「会報」の発行作業への参加である。ふたつめは「会報」や「ホームページ」の内容充実のために皆さんの活動の予定や報告があれば「お知らせ」や「投稿記事」として広報部宛に送ってほしいことである。

さて、今回の会報50号の発行作業は、広報部長の交代に加え先輩広報部員の退部もあり、広報部の体制は大幅に変化しての初めての大きな仕事である。今号が無事に会員の皆様のお手元に届いただろうか。この大仕事が一段落しても、地球環境問題の事と同程度に、これからの会報発行の事が、正直なところ私の心配事である。

広報部 鎌田 裕二



発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 安丸 元一

編集人：広報部長 鎌田 裕二

TEL/FAX 046-272-7021

発行日：2006年5月31日